

宮古 くまからー みゃーくぬ うまかもー

あんないすーやー。

これから宮古のあちこちをご案内しましょう。



おきなわ 沖繩には、年間何百万人という多くの観光客が訪れます。その観光客は、沖繩のどんな観光地を巡っているのでしょうか。次は沖繩島を離れ、宮古地区を訪れてみましょう。あなたなら、どこを案内しますか。



まえはま 前浜ビーチ(宮古島市)

みゃーくー だいひょーつしゅー ぱまーしー、
しゅまぴゅーとちやーなー あらだなしー
やまとぬ 観光客まい うぱーたど
みーが きうしゅー。

みやこ 宮古島を代表するビーチで、島の人だけでなく
ヤマトの観光客も大勢訪れます。



ながさー 7kmまい ありってい、んーなぐーや さらさらてい かぎむぬ。
長さは7kmもあり、白い砂はサラサラとして、きれいです。

みゃーくんかいどー なちうぬ きうしゅーてい しゅっさす「全日本トライアスロン みゃーく
たいかい」ぬ、うゆぎうぬ スタートまい ゴールまい なり ういう とくくるさーい。
宮古島の夏の訪れを告げる「全日本トライアスロン宮古島大会」のスイム、スタート、ゴール地点にもなっ
ています。

いけましづげん 池間湿原(宮古島市)



38ヘクタールまい あいう にほんな
いちうばん うぱーぶぬ
どるいむなしー、うぱーたぬ とういう、
むしゅー、いづぬきやー みーらいう
みじうらしゅー とくくるさーい。
38ヘクタールもある日本で一番大きな湿原
で、多くの鳥や昆虫、魚たちが見られる貴重な
場所です。



いきまじゅまぬ まんなかん あいう
どるいむましー、ゆにむい、
いーぬぶーていまい あいうざい ういう。
池間島の真ん中にある湿原で、ユニムイ、
イーヌプーとも呼ばれています。



ひらへんを 東平安名崎(宮古島市)

おーおーぬ すらとっ おーおーぬ
いむぬ みーらいう かぎ とくくる。
うまん たち うちうかー、きうむしゅーだー
しゅき かじぬどー ふうき ぴういう。

青い空と青い海が見える美しい場所です。
気持ち良い風が吹き抜けていきます。

しゅーがちうぬ あがいていどー うがむ
ていーまい なーだ かとくくるさーい。
さきうん いかっていーぬ なかばがまん
ちゅんだらーしゅー あばらぎみどーんてい
なーや とくゆまし ういう
まむやが ばかまいどー あいうさーい。
初日の出を見ることのできる場所としても有名で、
岬のど中には、悲劇の美女として名を知られる
マムヤの墓もあります。



とーらぬぱぬ ぱなん
あいう さきう。
宮古島の南東の端にある岬です。

いらぶじゅもー しゅーかいすつす とくきやんな かならじゅー しやしんな ぬーりぬ
とくゆむ 観光どくくる。

伊良部島を紹介いするときには必ず写真が載る有名な観光の場所です。

ふうたーちうぬ いきやー ふうかーふうかぬ とくくるんうてい つぎやーり うてい、
あらーぬ いむとー じゅーぬ しゅたぬ がまとっ つぎやーり ういうさーい。
二つの池は深いところでつながっていて、外の海とは地下の洞窟で結ばれています。

いらぶじゅまぬ
いいうぬ いむん
あいう ふうたーちうぬ
いき。
いらぶじま 伊良部島の西海岸にある
二つの池です。



通り池(宮古島市)

八重山 くりからーや やいまぬ

あまくま つかさなーら。

これからは八重山のあちこちをご案内しましょう。



沖縄には、年間何百万人という多くの観光客が訪れます。その観光客は、沖縄のどんな観光地をめくっているのでしょうか。次は沖縄島をはなれ、八重山地区を訪れてみましょう。あなたなら、どこを案内しますか。



川平湾(石垣市)

くぬしゅまぬ
いんぬふあーぬ ちぐち。
石垣島の北西部にある湾。



しゅまぬ、とぅむすんがれー やでーん ちゅかーれーる なーむちる とぅくる。
石垣島の観光ポスターには、必ずといっていいほど使われる有名な場所です。

くぬ ちゅぐちえー いんぬ すーぬ かいしゃーり とぅきうとぅ ていだぬ
ぐあいし すーぬ いるぬかーり たかでいとぅ がらすぬふにから
まーりみせーり うむっさ しーる みぐとぅな とぅくる。

川平湾は海の水がすんでおり、時間や光の加減で、いろいろと海の色が変わり、高台やグラスボートから回って、多くの人たちの目を楽しませている有名な所です。



桃林寺(石垣市)

しゅかぬ いしやなぎらなんがー
えーまんが はじめてい
たていだ ていら。
石垣市石垣にある八重山で
初めて建てられた寺です。
1614にん さつまから
あんかれーり つくるだ。
1614年に、薩摩藩の勧めによって
建てられました。

ペーリふちゅぬ すばびゅさなんが たちる におーや なま ぬくりる うちゅなんがれー
うきなーんが むつとぅむ ふるさーる きーぬ くりむぬし けんぬ 文化財かい なりん。

山門の左と右に立っている仁王像は、現在残っている中では沖縄で最も古い木ぼりの像として、県指定の有形文化財となっています。

メ
モ

うきなーんが とぅび
んでー かいしゃーる
すなだぬ しゅまで
あんかばん みしゃーんらー。
沖縄を代表する美しい
風景の島といえるでしょう。



竹富島(竹富町)

あかがーらやー うーるぬ ぐすく すすいのーぬ みちゅ、やーぬ ういぬ しーさー
ぐしょーくぬ はな なーだ いるぬ くゆきーり かいしゃーる はなばなぬ すなだ。
くりどぅ てーどぅん。

赤がわら屋根の家やサンゴの石垣、白砂の道、屋根の上のシーサー、そして、ハイビスカスなど色あざやかな花々が咲く原色の花々が咲く風景。それが竹富島。

うりたんがーや あらなー。むかすからぬ ようしきぬ くらしぬ なかなんが
いかされーすん てーどぅん。

それだけではありません。伝統や古い文化が、生活の中に生きているのも竹富島です。



ピナイサーラの滝



西表島(竹富町)

いりむていしゅまーや
うきなーんがれー
にばんぬー
まいしゃーる しゅま。
西表島は、沖縄県では沖縄島に
次いで面積の大きい島です。



ちきゅーんがれー くぬしゅまたんがーぬ いきむぬ「いりむてい やままやー」であんき
あつたらむぬ かい なりる。

世界では西表島だけにしかない、天然記念物の「イリオモテヤマネコ」でも有名です。

うぬふかんがー なかまかーら ぴないさーら うきなーんがれー くまたんがーぬ
ぴるまりーる とぅくる。

その他にも、仲間川やピナイサーラの滝など、沖縄では他に見ることができない風景が広がっています。

与那国 ないがらー，どうなんちまぬ

うまかま 案内き うやん。

これからは与那国のいろいろな所をご案内しましょう。



沖縄には、年間何百万人という多くの観光客が訪れます。その観光客は、沖縄のどんな観光地をめくっているのでしょうか。次は沖縄島をはなれ、与那国島を訪れてみましょう。あなたなら、どこを案内するかな。

日本最西端の碑(与那国町)



うなが んさたや 台湾が
んなりる どうぐるんでい うとうたがん。
運が良ければ、台湾が見える場所として有名です。
また、ていだんが うんながんき
いりる 光景や んんでいん んだにた
あびやんどー。 また、太陽が海にしずんでいく光
景も何とも言えないほど美しいよ。



うまどう だまとうぬ
いっていん いりぬ
はていぬ だー。
ここは日本で、最西端の地。



ヨナグニサン (あやみはびる)

ヨナグニサンや 日本に いっていん まいさる はびる、
どうなんにや あやみはびるんでい どう んでい ぶる。
ヨナグニサンは日本最大の「ガ」で、与那国ではアヤミハビルと言っている。

日本にや どうなんとう、いりむていにどう ぶる。 日本では与那国島と西表島にしかいません。

あやみはびるかんにや うぬ あやみはびる つかないぶん。
アヤミハビル館では、このアヤミハビルを飼育しています。



アヤミハビル館(与那国町)

メ
モ

なんたはまや どうなん つとうぬ
ちむすらしどぐる。
なんた浜は、与那国島の人の心の故郷です。
うたに あるに、どうなんちまぬ
いっていん うとう たがる
どぐるどう ないぶるゆ。
歌にも歌われていて、
与那国では一番有名な場所でもあります。



なんた浜(与那国町)

たぎや 30メートル あん。 高さ30メートルもあります。
ちまん つとうんたや「かんぬいてい」んでい どう んでいぶいてい、
見張台がら んぬ しがたや、かんぬいていぬ なーぬ とうーり みぐとうどー。
島の人々は、「神の岩」と呼んでいて、展望台からの姿は、神の岩という名前の通り見事です。

立神岩(与那国町)



どうなんちまぬ みーぬふわぬ
うんがに ある うぶいていどう
たていがみいてい ないぶる。
与那国島の南東部(巳の方角)の
海にある大きな岩が立神岩です。



わったー しまぬ はーりーや みぐとぅな むん。
私たちの故郷のはーりーは、見事なものだ。



はーりーは、豊漁や海の安全を願って行う祭りです。

沖縄で行われるはーりー行事の中でも「那覇はーりー」は最大規模で、およそ600年の歴史があるといわれています。

ちゅーや はーりー、
まじゅーん んーじが
いかな。
今日ははーりーの日。
一緒に見に行こう。



わんにん そーてい
つんじ くいみそーれー。
私も連れていってください。

いー。
まじゅん いか。
いいですよ。
一緒に行こう。



んかしえー、はーりーぬ ひーや
ゆっかぬひーに うくなとーたん。
昔は、はーりーの日は、
(旧暦の)5月4日に行っていたんだよ。



メモ

中南部各地の行事

中南部の各地域にはいろいろな行事があり、その地域に住む人々が大切に守り続けてきました。あなたの地域には、どのような行事がありますか。

しまくとぅば ちかてい、しまぬ しちびんかい んーな まじゅーん
いかな。
しまくとぅばを使って、故郷のお祭り(行事)に、みんなと一緒に
参加しよう。



↑那覇大綱曳き



↑獅子舞フェスティバル



↑全島えいさー祭り



↑与那原大綱曳き



↑海神祭(座間味村)



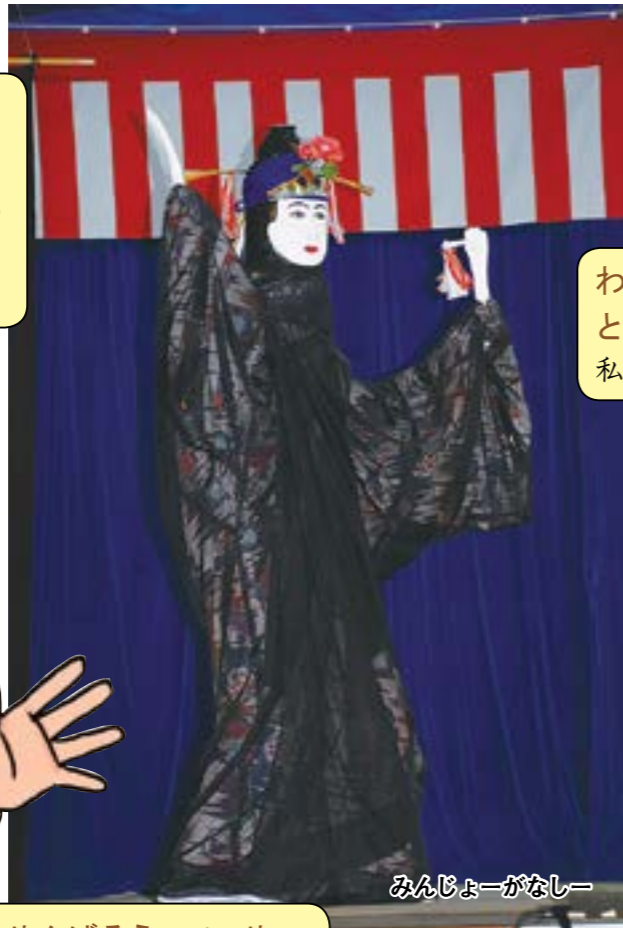
↑糸満はーれー(※糸満では、はーれーと言います。)

わね しまぬ むらうどういや、でいきとん。
私たちの島の村踊りは、見事なものだ。



むらうどい (村踊り) は、豊作や村の人々の安全を願って行う祭りです。

ちゅーや むらうどうい
いえーくとう、
まんなな みーが いかー。
今日は村踊りだから、一緒に
見に行こう。



わぬ そーてい いじ
とらしえー。
私を連れて行って下さい。



すやぬ うながみや、やんばるうっていや
なー うりとる まつり いえーんどー。
塩屋のうながみは、北部で有名な祭りなんだよ。



はーれーぬ
でーじな うっさん。
はーリーが、
とてもおもしろいよ。



北部の行事



↑塩屋のうながみ



↑安田のしぬぐ



↑安和のうしてーく



↑久志の若按司 (久志区)



↑屋部の八月踊り

ぱんとうーや みゃーくんうていや なーだか
まちりどーや。

ぱんとうーは、^{みやこ}宮古では有名な祭りなんだよ。



ばんたが しうまぬ ぱんとうーや、みゃーくぬ しうまじうーんどう あいう。
わたしたちの島のぱんとうーは、宮古の島中にあります。

ばぬー さーり いき
ふいーさーち。
私を連れて行って下さい。



きゅーや ぱんとうー やーば
まーちつき みーが いか。
今日はぱんとうーだから、
^{いっしょ}一緒に見に行こう。



ぱんとうー

どろー どろが んーなんかい
たつかーし、ぴうとー
ういきしうまーいう。
どろを自分のからだにぬりたくって、
人を追いかけて回る。



宮古の行事



^{けくべかみく ししまい}↑城边上区の獅子舞



^{かわみつぼうおど}↑川満棒踊り



↑うるかくいちゃー



^{まつばら}↑松原の獅子舞



^{うがん}↑やーます御願



↑池間のくいちゃー



^{ともり}↑友利のくいちゃー



↑友利獅子舞



ばがー しゅまぬ ぷーりゅや みぐうとう。
わたしたちの島の豊年祭は、見事なものだ。

ぷーりゅ (豊年祭) は、豊漁や海の安全を願って行う祭りです。集落ごとに行われる祭りで、八重山で行われる行事の中でも規模が大きく、人々が楽しみにしている行事です。

きゅーや ぷーりゅどう
やりきー、まーぞんさーり
いきって みしら。
今日は豊年祭だから、一緒に
見に行こう。

ばぬん、さーり いき ひょーり。
私を連れて行って下さい。

なー うつあれーんどー。
有名なんだよ。

しゅかあざぬ あんがまーぬ
むんどーや うむっさんどー。
四箇字のあんがまーの問答が、
おもしろいよ。



あんがまー

メモ

八重山の行事



↑竹富のたにどうり



↑西表祖納のしつまつり



↑波照間のむしゃーま



↑小浜結願祭



↑川平のまゆんがなし



↑ゆっかぬひー



↑四か字豊年祭 つなぬみん

ばーちまぬ うがんふとっていや
みぐとぅな むぬどぅー。
わたしたちの島の豊年祭は、見事なものだ。

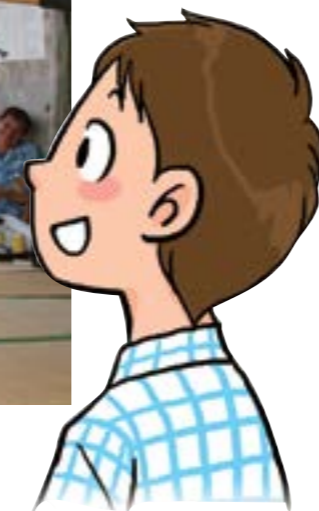


うがんふとってい（豊年祭）は、豊漁や海の安全を願って行う祭りです。
与那国で行われる行事の中でも、「どうんた」や「^{おど}棒踊り」はみんなが楽しみにしています。

すーや うがんふとっていどう
あるんがら、まどぅん
んにんでい ー。
今日は豊年祭だから、
一緒に見に行こう。



たんでい あぬ
すいひー とぅらしんに。
私を連れて行って下さい。



うとったがる まちりどう
ないぶる。
有名な祭りなんだよ。

「どうんた」き「ぶーつかい」
あらーぐ、うむつつあんどー。
「どうんた」と「^{おど}棒踊り」が、
とてもおもしろいよ。



どうんた

メモ

与那国の行事



↑ぶーぶーどぅいし（棒踊り）



↑たていうさい



↑みていうた



↑くぶらまちり



↑うがんふとってい

いいー そーぐわち れーびる。
良いお正月です。



一年の計は元旦にありといわれます。元日には、家族が集まってきちんとあいさつを行い、一年の抱負などを述べ合うのも良いかもしれませんね。

あなたの今年の正月はいかがでしたか？

いいー そーぐわち
なとーんやー。
良いお正月になりましたね。

にとーぬ えーさち
うんぬき やびら。
年頭のあいさつをします。

くとうしん ゆたさるぐと うにげー さびら。
今年もよろしくお願ひします。

北部 いいー そーぐわち やー。

にとーぬ えーすとー しーが
つちゃん。
年頭のあいさつにきました。
いいー そーぐわち やー。
良い正月です。

くたいん ゆたはるぐとやー。
今年もよろしくね。

宮古 かぎ しょーがちうんどー なり ういう。

しょーがちうぬ あいさつちう
すーでい。
年頭のあいさつをします。
かぎ しょーがちうやー。
良い正月です。

くとうしうまい たかさーしー
かいーさーち。
今年もよろしくお願ひします。

八重山 いー しょんぐわじうらー。

にとーぬ あいさちう つさりんゆー。
年頭のあいさつをします。

にとーぬ あいさちう つさりんゆー。
今年もよろしくお願ひします。

いー しょんぐわじうらー。
良い正月です。

与那国 いー すんがていどう ないぶるゆ。

にとーぬ あいさいてい つありるん。
年頭のあいさつをします。

くとうちん いーくとうゆ
あらみとーらしわり。

いー すんがてい。
良い正月です。

今年もよろしくお願ひします。



正月にうたわれるうたを調べてみましょう。

中南部 / 北部 「かじゃでいふう」(かぎやで風)

あらたまぬ とーしに たんとー くぶ かじゃてい
くくるから しがた わかく なゆさ。

新年に炭とこんぶをかざって、心から若くなったような心持ちがする。

きゆうぬ ふくらしやや なをうにじゃなたてい
ちぶでいうる はなぬ ちゆちゃ たぐうとー。

今日のうれしさは何に例えよう。つぼんでいる花がつゆに出会って花が開いたようだ。

宮古 「とーがにあやぐ」

うぶゆ ていらしゆる まていだだき 国ぬ 国々
島ぬ 島々 ていりやーがり うすいよー。

大世を照らしている真太陽(ティダ)のように 国の国々、島の島々を照りかがやき統治する。

八重山 「ばしうぬ とーりうぶし」(わしの鳥節)

~ しょんぐわじうぬ しうとーむでい ぐわんにちうぬ 朝ばな あがるかい
飛びちうけ ていだば かめ まいちうけ。

(7・8番の歌詞) 正月の早朝に 元日の朝まだきに

(若わしは) 東の方に飛んでいった太陽をいただいてまて行った。

※与那国では、正月には中南部と同じように「かぎやで風」がうたわれるのが一般的です。

中南部 むーちー ちゅくてい, とうしぬ

かじぬ むーちー さぎらな。

むーちーを作って, 年の数のむーちーを下げよう。



旧暦の12月8日は「むーちー」を食べる日です。「さんにん (月桃)」の葉に包まれた「むーちー」は, よい香りがする, おいしい食べ物ですね。また, みんなの年の数だけヒモで結んで天井からつるす風習もあります。またこの時期は, 「むーちーびーさ」といって, 一年でも寒くなる季節でもあります。おいしい「むーちー」をたくさん食べて, 身も心も暖かくなりましょう。

むーちー うふおーく ちゅくてーぐとぅ ちゅふあーら かみよー。
むーちーをたくさん作ってあるから, お腹いっぱい食べてね。

あいえー, まーさぎさんやー。
とー, ていーちえー かりんーら。
ああ, おいしそうだね。
それでは, ひとつ食べてみよう。



北部 うりむちー とうくてい,

とうしぬ かじ うりむちー さぎらー。

うりむちー ふおーく とうくてくとう,
わたみちゆか くえーよー。
むーちーをたくさん作ってあるから, お腹いっぱい食べてね。
まーはぶちやげらはぬ。
だー, ていーち くわーてい んだー。
おいしそうだね。それでは, ひとつ食べてみよう。



メ
モ

宮古 むっちゅう ちうっふい, とうしぬ
かずだき むっちゅう さぎやー。

むっちゅう うばーた つっふい
うきば ばたーんちうきや あいよー。
むーちーをたくさん作ってあるから, お腹いっぱい食べてね。
あがんにや (あば), んまぎやー。
あら, ぴうていーちう あいみー。
ああ, おいしそうだね。それでは, ひとつ食べてみよう。
(※最近では宮古の家庭でもムーチーを作ったりしますが, 本来, 宮古にはムーチー行事は行われていませんでした。)



八重山 むつば つくり
とうすぬ かず さげー みやーむー。

むつ たかーに ちうくれーりきー
ばだぬ んちうんけん ほうよー。
むーちーをたくさん作ってあるから, お腹いっぱい食べてね。
いびー, んまさんがしゃーそー あんずかー
ぴていーず ほうい みやーむー。
ああ, おいしそうだね。それでは, ひとつ食べてみよう。



与那国 むてい つくいてい,
とうちぬ かでい さんぎるん。

むてい まーしく つくいあんがら, ばた んくた はいばえー。
むーちーをたくさん作ってあるから, お腹いっぱい食べてね。
あー, まーさんぎさんがえー。いた ？とうち はいんぬー。
ああ, おいしそうだね。それでは, ひとつ食べてみよう。



ちゅーや しーみー。するてい はかめーが いか。
今日は清明祭。みんなで墓参りに行こう。

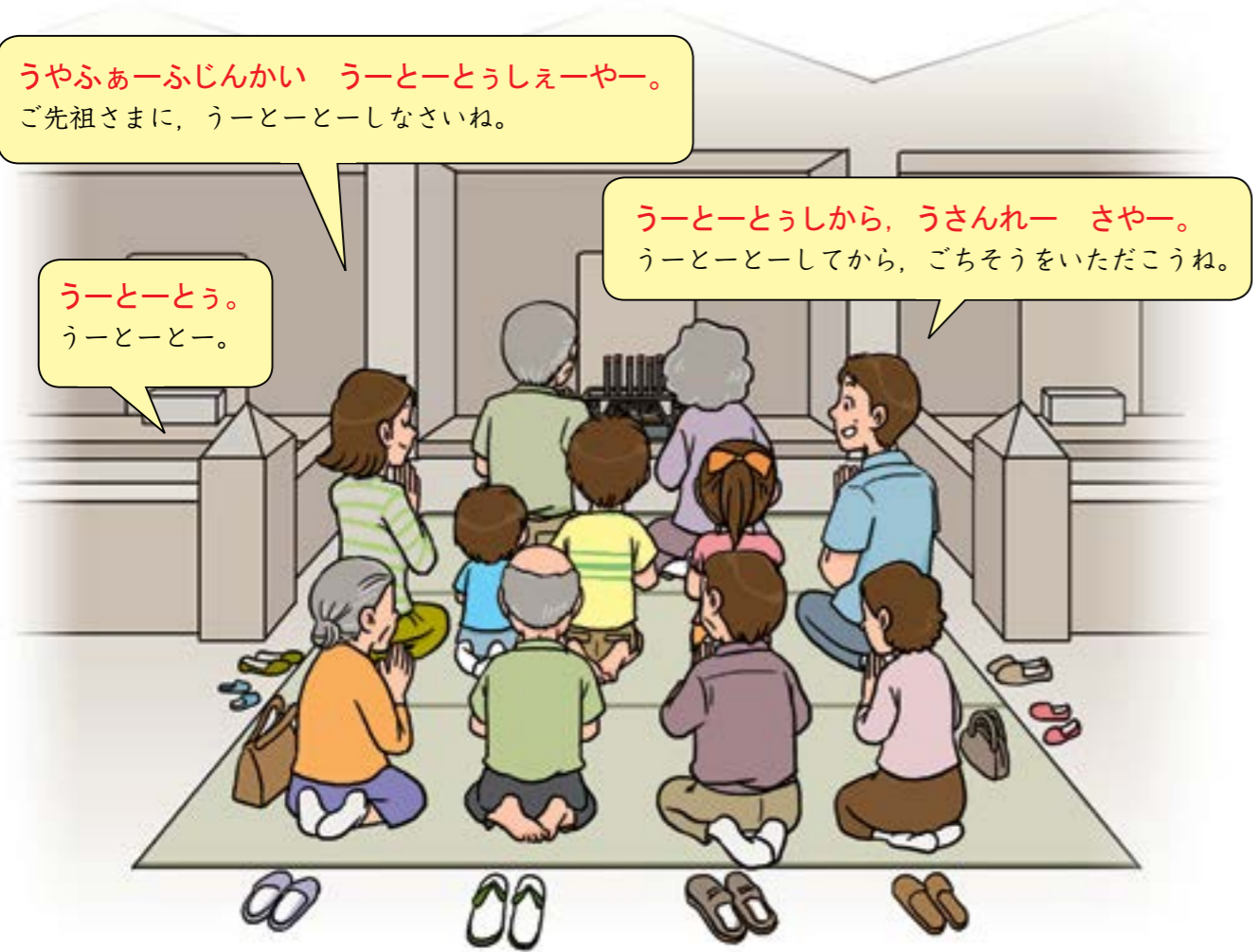


沖縄島では、4月のはじめに「しーみー（清明祭）」を行います。そのときは、家族や一族が集まって墓参りをして、ごちそうをお供えして、ご先祖さまを供養します。

うやふあーふじんかい うーとーとうしえーやー。
ご先祖さまに、うーとーとーしなさいね。

うーとーとうしから、うさんれー さやー。
うーとーとーしてから、ごちそうをいただくね。

うーとーとう。
うーとーとー。



ちゅーや しーみー。
むんどーり すりてい ふあかけ いかー。

うやふあーふじけ とーとう しえー。
ご先祖にうーとーとーしなさいね。

とーとう しちから、さんでー さーやー。
うーとーとーしてから、ごちそうをいただく。

うーとーとう。
うーとーとー。



宮古・八重山・与那国

きょうは十六日祭。みんなで墓参りに行こう。



宮古や八重山、与那国では、「十六日祭(じゅーるくにちー)」が盛んです。「じゅーるくにちー」は、旧暦の1月16日に行う墓参りです。あの世(後生)の正月といわれています。

宮古 きゅーや じゅーるくにちう。
んーなし ぱかんかい いか。

きゅーや じゅーるくにちう やーば んまむぬー くーつうい きうしうたいう。
んーなしー んきぎさーち。
今日は十六日祭だから、ごちそうを準備してきました。みなさんでお召し上がりください。
ずー、んーなしー ていーや かみっていから、んまむぬー ぶあー。
さあ、みんなて手を合わせて、ごちそうをいただく。

八重山 きゅーや じゅーるくにちう
むーるさーり はかかい はららー。

きゅーや じゅーるくにちう やりきー こっきー しこーりきーだ けーらし
おいしとーんなーらー。(んこーりよー。んきやーとーりよー。)
今日は十六日祭です。ごちそうを準備してきました。みなさんでお召し上がりください。
でいー、けーらし ていー うさーし こっきー とーらりら。
さあ、みんなて手を合わせて、ごちそうをいただく。

与那国 すーや どうぬくにてい。
ぶーる まどうん はがんき でいー。

すーや どうぬくにてい どう。うさい しくんき すんどう。
ぶーるし うやしわれ。
今日は十六日祭です。ごちそうを準備してきました。みなさんでお召し上がりください。
でい、ぶーるし ていー うさしてい、うさい たばらりるー。
さあ、みんなて手を合わせて、ごちそうをいただく。

ちゅーから しちぐわち。うんけー さびら。
今日からお盆。お迎えしましょう。



旧暦の7月13日から15日までの三日間は、お盆が行われます。ごちそうをお供えして、ご先祖さまを供養する行事です。13日の初日は「うんけー（お迎え）」、14日は「なかび（中日）」、15日は「うーくい（お送り）」の日で、うちかび（あの世で使うお金）を燃やして、ご先祖さまをお見送ります。各地では、「エイサー」や「アンガマ」など、お盆ならではの催しも行われます。

ぶちらん
(仏だん)
とーとーめー
(位はい)



しちぐわちぬ うさぎむん うさがみそーれー。
お盆のお供え物をお召し上がりください。

うんけー さびら。
お迎えしましょう。

うさんれー さびら。
お供えしたごちそうをいただきます。

うーくい さびら。
お見送りしましょう。



太郎くんの地域では、「エイサー」が集落内を回っています。あなたの地域では、どんなお盆行事が行われているかな。

北 部 ちゅーから しちぐわち。むけーらやー。

しちぐわちぬ うさぎむぬ
いいちやぎそーれー。
お盆のお供え物をお召し上がりください。
うんけー さーやー。
お迎えしましょう。

さんでー さーやー。
お供えしたごちそうをいただきます。
うーくい さーやー。
お見送りしましょう。



宮 古 きゅーから しうとうがちう。んかいやー。

しうとうがちうぬ うさぎむぬー
んきぎさまち。
お盆のお供え物をお召し上がりください。
ずー、んかい。
お迎えしましょう。

うさぎむぬー ぶあー。
お供えしたごちそうをいただきます。
うとうもー すー。
お供えしよう（お見送りしよう）。



八 重 山 きゅーから そーろん んかよーら。

そーろんぬ しうこーりむぬ
おいしょーり。
お盆のお供え物をお召し上がりください。
んかよーららー。
お迎えしましょう。

すないだ むぬ（こつきー）
とーらりんどー。
お供えしたごちそうをいただきます。
うくる さーなーら。
お見送りしましょう。



与 那 国 すーがら する。んかるんどう。

するぬ まっちやる うさい
うやしわれ。
お盆のお供え物をお召し上がりください。
する んかいうやい。
お迎えしましょう。

まっちやる うさい たばらりる。
お供えしたごちそうをいただきます。
する うぐいうやい。
お見送りしましょう。



中南部 ちゅーや、みなぐちょーれーが

じゅーさんゆーえー。

ちゅらじん ゆー うちゃーとーんやー。

今日は、妹の十三祝い。きれいな着物が似合っているね。



数えの十三歳を迎えると、十三祝いの行事を行います。あなたの家や学校でも、十三祝いをしたこと
でしょう。比嘉家では、太郎くんの妹の夕希さんが、十三祝いを迎えています。おしゃれをした妹はか
わいいですね。みんなも自分の十三祝いを思い出したのではないかな。

ちゅらじん うちゃーとーくとう
さしんやーかい さしん ぬじーが いか。
きれいな着物が似合っているから、
写真館へ写真を撮りに行こう。

ちゅーぬ ゆーきーや、
いっぺー ちゅらさんやー。
今日の夕希は、とてもきれいだね。

※写真を撮ることは「ぬじゅん」の
他に「うつすん」ともいいます。



すーん あんまーん うっさぎさんやー。
お父さんもお母さんもうれしそうだね。

北部 ちゅーや みなぐちょーでーぬ じゅーさんゆーいえー。

ちゅらぎぬ ゆー うちゃとん。

ちゅーぬ ゆーきーや、でーじな ちゅらはんやー。
今日の夕希は、とてもきれいだね。

ちゅらぎぬぬ うちゃとくとう、写真やーけ いじ 写真 とういが いかやー。
きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真を撮りに行こう。

ちゃーちゃーん あんまーん うっさぎさんやー。
お父さんもお母さんもうれしそうだね。

メ
モ

宮古 きゅーや うとうとうぬ じゅーさんよーいう。
かぎぎうんな ゆーどう ぱいぱい ういうじゃー。

きゅーぬ ゆーきーや ありやみーん あばらぎやー。

今日の夕希は、とてもきれいだね。

かぎぎうんぬ ぱいーぱい ういば しゃしんやーんかい しゃしんぬ
とういうが いか。

きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真を撮りに行こう。

あんなまい、うやまい ぷからしうきやー。

お母さんもお父さんもうれしそうだね。

八重山 きゅーや うとうとうぶなるぬ じゅーさんぬよい。
かいしゃーる きん にあいそー。

きゅーぬ ゆーきーや あっぱりしゃー そーらー。

今日の夕希は、とてもきれいだね。

きんぬ かいしゃーり にやーりきー しゃしん とうんな はら。

きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真を撮りに行こう。

びげーん(あっちゃん) ぶねーん(あっぱん) さにんしゃんがさー そーらー。

お父さんもお母さんもうれしそうだね。

与那国 すーや うとうとうぶないぬ どうーさんぬだい。
あびやる んなにんがどう まーてい んしゃる。

すーぬ ゆーきや、あらぐー あびやんがえー。

今日の夕希は、とてもきれいだね。

あびやる んなにんが まーてい んしゃるんがら、
写真やんき 写真 とうんでい だい。

きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真を撮りに行こう。

いやん あぶたん あらーぐ しゃなぎどう わるんがえー。

お父さんもお母さんもうれしそうだね。

<ーロメモ>

沖縄では、自分の生まれた年と同じ干支を生まれ年といいます。丑年に生まれたら、その年が自分
の生まれ年になるわけです。また、生まれ年にはお祝いをしますが、そのことを「とうしびー」とい
います。ですから、十三祝いも「とうしびー」のお祝いになるのですね。十三祝いの次は、25歳で、
そのあとは37歳、49歳、61歳、75歳、97歳になります。

たんかーゆーいえーんかい うんちけーさったん。
満一歳の誕生祝いに招待された。



赤ちゃんが、満一歳の誕生日を迎えると、「たんかーゆーいえー」といって、誕生祝いをを行います。「たんかーゆーいえー」では、赤ちゃんの前にご飯やそろばん、ノートや筆などを置いて自由に手に取らせます。何を選ぶかによって将来の職業をうらないながら、家族や親せきなどで祝います。あなたは何を選んだかな。家の人に聞いてみましょう。

あきらーや ぬー いらぶがやー。
明は何を選ぶかな。

勝の弟(明)
まさるー
みきがちよーれー

まさるーや ちゃー やたが。
勝はどうだった。

勝

(帳面) ちよーみん
(そろばん) するばん
(筆) ふり
(ご飯) むぬ
(お金) じん

わんねー、じん とうっとーたんり。
私は、お金を取ったんだって。

あんしが、あきらーや うじらーさんやー。
しかし、明はかわいいね。

宮古 たんかーよーいんどう あびらいたいう。

あきらー、のーゆが いらびうがら。
明は、何を選ぶかな。
まさろー、のーしーが やたいう。
勝は、どうだった。

ばがどう じんぬ
とういたいうていぬ。
私はお金を取ったんだって。
あしうが、あきらー いんがなしうきやー。
しかし、明はかわいいね。

ちよーみん (帳面), ふでい (筆), じん (お金),
するばん (そろばん), まいう (ご飯)



八重山 たんかーよいかい ちうかさりだー。

あきらーや のーどー いらぶかやー。
明は何を選ぶかな。
まさるーや のーしどー うだかやー。
勝はどうだった。

ばなー じん とうったかやー。
私はお金を取ったんだって。
やすんが、あきらー あつたらさーん。
しかし、明はかわいいね。

ちよーみん (帳面), ふでい (筆), じん (お金),
するばん (そろばん), つんぼん (ご飯)



北部 たっかゆーいえーけ ゆわっとん。



あきらや ぬーが とっいるやー。
明は何を取るかな。
まさるや、ちやつち げーたる。
勝は、どうだった。

わぬや じーにー とったんでい。
私はお金を取ったんだって。
いえーすが、あきらや
ばちきりとんやー。
しかし、明はかわいいね。

ちよーめん (帳面), ふでい (筆), じーにー (お金), するばん (そろばん), めー (ご飯)

与那国 たんかぬ だinkinき つかいらりたん。

あきらや、ぬーば いらぶかやー。
明は、何を選ぶかな。
まさるや、ぬんに ぶたんが。
勝は、どうだった。

あぬや でいんどう とったるんでい。
私はお金を取ったんだって。
いるんが、あきらや んだらんえー。
しかし、明はかわいいね。

ちよーみん (帳面), ふでい (筆), でいん (お金),
するばん (そろばん), い (ご飯)



んかしんちゆぬ いくとぅば てーしちに しょー。

昔の人たちのことわざを大切にしなさい。



あわていーる なーかー よーんなー (うていちき)。

「急いでいる時こそ、ゆっくり (落ち着いて)。」急いでいるときこそ、冷静に落ち着いて行動しなさい。

・急がば回れ ・せいては事を仕損じる

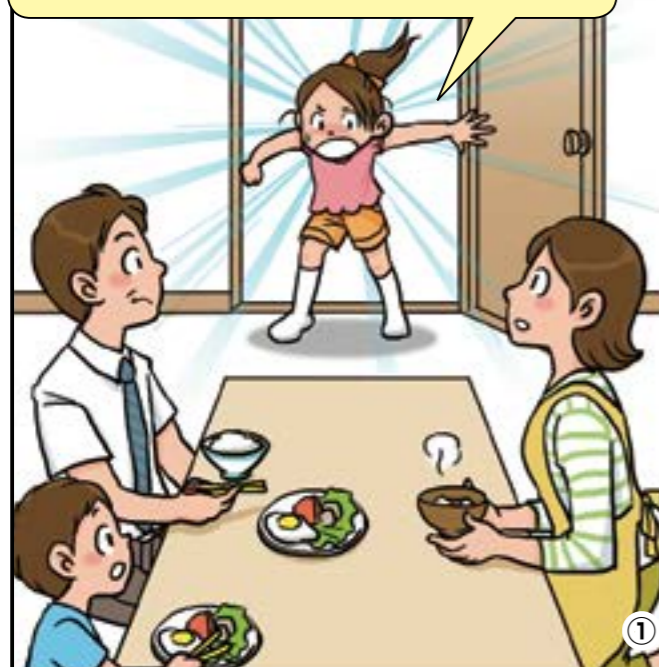
れーじなたん。がっこー うくりーん。

大変だあ。学校に遅れてしまう。

ふえーく うくちくいれー

しむるむんぬ。

早く起こしてくれたらいいのに！



いすじ いちゆさ。

急いで行ってきます。

れーじなとーさ。かばん わしたん。

大変だよ。かばんを忘れてしまった。

あきさみよー。

(あれまあ。)



ちー ちきてい いきよー。

気をつけて行きなさいよ。

うんなとぅちえー あわていーる

なーかー よんなーるやんろー。

こんなときは、落ち着いて行動するんだよ。

くぬ ふかぬ いくとぅば。(この他のことわざ)

いくとぅばや、てーしちな むん やんろー。(ことわざは、大切なものです)

たんめー、はんしーから ならてい んーりよー。(おじいさんや、おばあさんから習ってみようね。)

中南部

● いちやりば ちょーれー。(行きあえば兄弟)

「見ず知らずの人でも縁あって親しくなれば兄弟のようなもの。」

・そですりあうも他生の縁

● きらまー みーしが、まちげー みーらん。(慶良間は見えるが、まつ毛は見えない)

「慶良間列島は見えるが、目に最も近いまつ毛は見えない。」

・灯台もと暗し

● ぬちる たから。(命こそ宝)

「命はかけがえのない大事なものである。」

・命あつての物種

● やーなれーが ふかなれー。(家ででの習いが、外でもそのままの習い)

「家でのしつけの悪いのは、よそでもその通り。家でのしつけは外でも自然に現れるもの。」

・氏より育ち

● いいーつちよー しんぐわんしん こーてい るし し。(良い人は、千貫で買っても友とせよ。)

「良き友は、大金で買うほどの価値がある。」

※(お金のこと)

・持つべきものは友



むかしんちゆぬ いちえぬ くとぅや わっしていや ならんどー。

(昔の人のことわざは、忘れてはならないよ。)

北部

● いっくわいなーる うすみじや ぬみる。(一回こそ、塩水も飲む)

「失敗は一回で十分である。繰り返してはいけない。(潮も水も同格で、苦くて欲しくないもののたとえ)」

・前車の轍は踏まず

● むぬ すそーに しーねー、うやふあーふじん すそーに すーすとぅ いいぬむぬ。

(物を粗末にしたら、親祖父母を粗末に扱うのと同じ。)

「物を粗末に扱うことは、祖先を粗末にするのと同じ。」

● かーみぬ くーよか とぅしぬ くー。(亀の甲より年の功)

「年長者の豊富な経験は、貴重で尊敬すべきものだ。」

・老いている馬は道を忘れず

● みみだい？まーぬ ちゅーくーやー。(耳が垂れた馬(おとなしそうな馬)こそ、人を噛む)

「温和しそうに耳を垂れている馬が、人を噛むものだ。(人は外見で判断してはいけない。)」

● あがいていだる うがみる。さがいていだや うがまん。

(上がる太陽を拝むもので、下がる太陽は拝まない。)

「明るいことにこそ、心を向けなさい。細かいことでくよくよしてはいけない。」



宮古 んきゃーん ぴうとうぬきゃーぬ
 んきゃーんじゅくー だいじうんすー。
 昔の人たちのことわざを大切にしよう。



うむーちうかー ふうぎうだき あしうちうかー ぴさだき。
 思っているうちは首の高さ、やってみると足甲の高さ
 ※手をつける前は難しそうに見えても、実際にやってみると、案外たやすくできるものだ。

① のーばしーが すーでいがらやー。 どうしよう、どうしよう。

② あんちーぬ たかーたかぬ バーや とぅぱいどぅ しゅちびやーやー。 こんなに高いバーを跳べるかなあ。

あがいたんでい。とぅぱいどぅ っしうさいが。あしうちうかー ないうどぅ っしうさいが。 やったー。跳べたぞー。 やればできるんだ。

③ いっうい うていーまい のーまい ならん。 あらんや とぅぱどー。 怖がっていてもしょうがない。 よーし、跳ぶぞ。

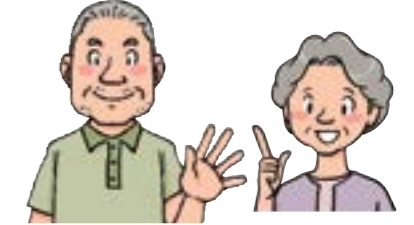
④ うむーちうかー ふうぎだーき あしうちうかー ぴうさぬ だきさいが。 思っているうちは首の高さ、 やってみると足甲の高さだあ。

×
モ

うぬ ぷかぬ んきゃーんじゅく。(この他のことわざ)

んきゃーんじゅくや、だいじうなむぬ。
 (ことわざは、大切なものです。)

しゅーたー、んまたーから ならい みーる。
 (おじいさんや、おばあさんから習ってみましょう。)



宮古

- ういびやー うちうんかいどぅ ぶりいう。
 (指は内側に折れる)
 「五本の指が内側に折れるように、兄弟や親戚は、いざというとき協力して、事にあたるものである。」
 ・血は水よりも濃し
- ぴとぅだすきやー どぅーだしうき。
 (人助けは 自らを助く)
 「他人に対する援助は、結果として自分への援助として帰ってくる。」
 ・情けは人のためならず
- かなっさどぅ あぱらぎさ。
 (愛故に美しい)
 「いとおいしい心で見れば、可愛く美しく見える。」
 ・あばたも笑くぼ
- たかぎーんどぅ かじやー かかいう。
 (高木に風はかかる)
 「高い木には風が強く当たるように、優れた者は世間からとやかく言われる。」
 ・高木は風に折られる
 ・高木は風にねたまれる
- ぴうとぅかたん かなう むぬぬどぅ、むむかたん かのー。
 (一芸にかなう者が、百芸にかなう)
 「一つの芸や技に秀でるものは、他の分野でも能力を発揮するものである。」
- やまばとー どぅーぬ ふうちうんかいどぅ ふうあーいいう。
 (山鳩は自分の口に食われてる)
 「余計なことを言わなければ、災いを招くことはない。」
 ・キジも鳴かずば撃たれまい
 ・口は災いの元



むかす ぴうとうだーぬ ゆんぐとうや
あたらさ しーよー。
昔の人たちのことわざを大切にしよう。



いー どうしう むちう たたみぬ ぴーりう ふむん、やな どうしう
むちうかー ちうななー ぱくん。
「善い友だちと仲良くすると畳の縁を踏む、悪い友だちと結ぶと縄目をかけられる（捕まること）。」

たろー まーずん としよかんかい
はらぬ。きゅーぬ しゅくだい
まーずん さーでいー。
太郎。一緒に図書館行かんか。今日の宿題、一緒にやろうぜ。



たろーとー げーむせんたーかい
はる かたみ しえーすんが。
しゅくだいや あつたらむぬ やりき、
くとうぱり くいー。
太郎たちとゲームセンターへ行く約束してるんだけど。宿題が大事だから、断ってくるね。



あんじー。かんじー かんがいー
みしゃーるすず。ならーしひやーり
にふあいどー。
そうか。こんな風に考えればいいのか。
教えてくれてありがとう。

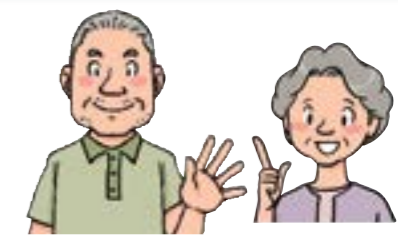


いー どうしう むちうかー たたみぬ
ぴーりう ふむん、やな どうしう
むちうかー ちうななー ぱくん。
本当に、「善い友と親しく交わると畳の上で良い暮らしが
でき、悪い友と交わると、縄目をかけられる。」だね。



うぬふかぬ むかしうむに。(この他のことわざ)

むかしうむに あたらさーる むぬ。
(ことわざは、大切なものです。) 注、むかしうむに(ことわざ)
うしゅまい んみーから ならい みーら。
(おじいさんや、おばあさんから習ってみましょう。)



八重山

- うやぬくいやー かんぬくいで うむやー ゆー しうきよー。
(親の声は神の声と違ってよく聞きなさいよ。)
- ゆくしむねー すーかー ぬすとるぬ はじまるんどー。
(嘘をつくど泥棒が始まるぞ。)
「うそをつくことが、やがては盗みにつながっていく。うそをつくことは、泥棒と同じように悪いことである。」
- かたちえー にばん きうむぬどう だいいちう。
(形は二番、肝(心)が第一。)
- いじえーる むねーや ぬまるぬ。
(言った言葉はのまれぬ)
「口から出した言葉は、再び口の中へのみ込むことはできない。」
・口は災いのもと
・後悔先に立たず
- ふちうや やふぬ むとう。
(口は災いのもと。)
- ぱりや ぬまるぬ。
(針はのまれぬ)
「小さいからといって、あなどってはいけない。」
・山椒は粒でもピリリと辛い
- ふしえー ぴとうぬ まりじよー。
(習癖は、人の生まれ性分)
「人のくせというものは生まれつきのもので、年を取っても変わらない。」
・三つ子の魂百まで
- もーぎぬ たちうかー あーみぬ きんどー。
(虹の立っているところでは、雨が降っている)
「何か物事が発生するときには、必ず物事が起きる理由がある。」



与那国 んかち つとうんたぬ むぬぬたていや
あたらきりよー。
昔の人たちのことわざを大切にしよう。



どうとうまりる うゆびぬ なーまら あるんに、つとうにや なーなたが あいどう ぶる。
「一晩に生まれた指に長い短いがあるように、人には、人それぞれの性格がある。」

・十人十色



ぬーば きー あんぶんが。
んまんき ひるんが。
何して遊ぶか。どこに行くか。

ぬー すむていば どうむかや。
うんがどう うむつつあんぎさる。
どの本を読もうかな。これが面白そうだな。

あぶたー、すーぬ どういや
ぬば あいわるかや。
あぬん ていがない きるん。
お母さん、今日の晩御飯は何。
私もお手伝いするよ。

どうとうまりる うゆびぬ なーまら あるんに、
つとうにや なーなたが あいどう ぶる。
一晩に生まれた指に長い短いがあるように、人には、
人それぞれの性格がある。

メ
モ

7 ことわざ・言葉

うぬふがぬ むぬぬたてい。 (この他のことわざ)

むぬぬたていや、あたらる むぬどー。 (ことわざは、大切なものです)
あさ、あぶんたがら ならいんにゆー。 (おじいさんや、おばあさんから習ってみましょう。)

与那国

- **あととなる むぬんがどう、うぶいゆ ふ。**
(後になる者が、大きな魚を食べる)
「人に先をゆずって最後に残った人が、大きな魚を食べることがあるように、人に先をゆずれば、自分に福がやってくる。」
・残り物には福がある。
- **いーむぬとぅ ちりたや いーならいき、だなむぬとぅ ちりがらや、だないどう きる。**
(良い人と付き合ったら良い習慣が身に付き、悪い人と付き合えば、悪い習慣が身に付く)
「交際する相手によって、人は感化されてしまう。」
・朱に交われば赤くなる。
- **うやんが うむんに あがみんが うまぬん。**
(親が思っているようには、子どもは思っていない)
「親がどれだけの愛情を注いでも、子どもには伝わりにくいものである。」
・親の心、子知らず。
- **ていん あがみがらや、かでい くんていどう ある。**
(空が赤くなってくると、台風がやってくる)
「天気のことわざ」
- **みーみぬ まいぬどう、んたく。**
(実らない稲の穂が頭を立てる)
「礼儀を知らなくてはいけない。」
・実るほど頭を垂れる稲穂かな。
- **きーぬ まんがいや つかりるが つとうぬ まんがいや つかにぬん。**
(木の曲がりには使えるが、人の性格の曲がった奴はどこにも使えない)
「もって生まれた性格や性質は、年を取っても変わることはない。」
・三つ子の魂百まで
- **だーならいどう ふがならい。**
(家での習いが、外での習い)
- **はいない にちない、どうったい かつたい。**
(南か北か、どちらかわからない)
「決断力がなく、いい加減な人を言い表すことば。」

